



平成27年3月期 決算説明資料

株式会社トマト銀行

目次

I 平成27年3月期 決算概要	2	営業戦略～変革から進化へ～	18
2年連続の増収、6年連続の増益（単体）	3	企業のライフステージをトータルサポート	19
決算概要	4	個人のライフイベントをトータルサポート	20
預金・預り資産	5	ビジネスモデル（本業支援・最適提案）の 確立	21
貸出金	6	トマト銀行の行動指針	22
預貸金利回り・利鞘	7	III 地域経済・社会への貢献	23
有価証券	8	岡山県との包括提携	24
自己資本比率	9	「もんげー岡山！定期預金」の取り扱い	25
経費・OHR	10	地方創生支援の取り組み	26
不良債権比率、保全・引当状況	11	創業・知的資産経営支援の取り組み	27
中小企業向け・岡山県内向け貸出の推移	12	IV トマト銀行の概況	28
個人ローンの推移	13	トマト銀行のプロフィール	29
平成28年3月期 業績予想	14	トマト銀行のあゆみ	30
II 新中期経営計画について	15	トマト銀行の店舗ネットワーク	31
トマト銀行の経営ビジョン（10年後の姿）	16	本資料に関する照会先	32
新中期経営計画（平成27年度～29年度）の 概要	17		

I 平成27年3月期 決算概要

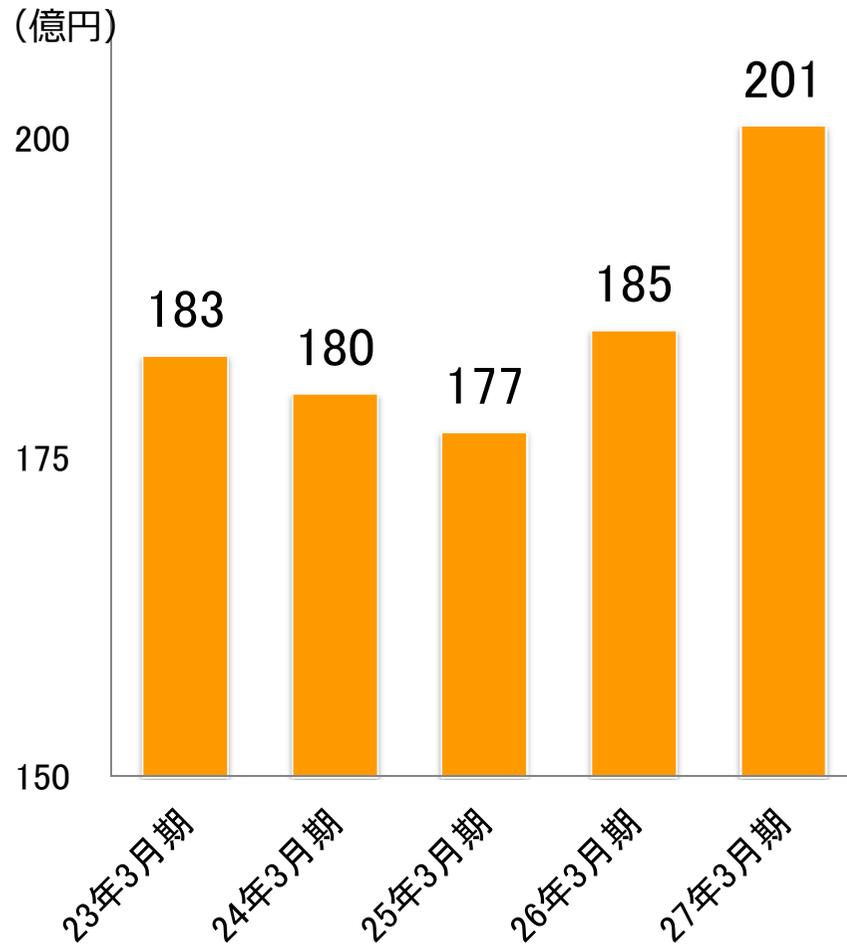
II 新中期経営計画について

III 地域経済・社会への貢献

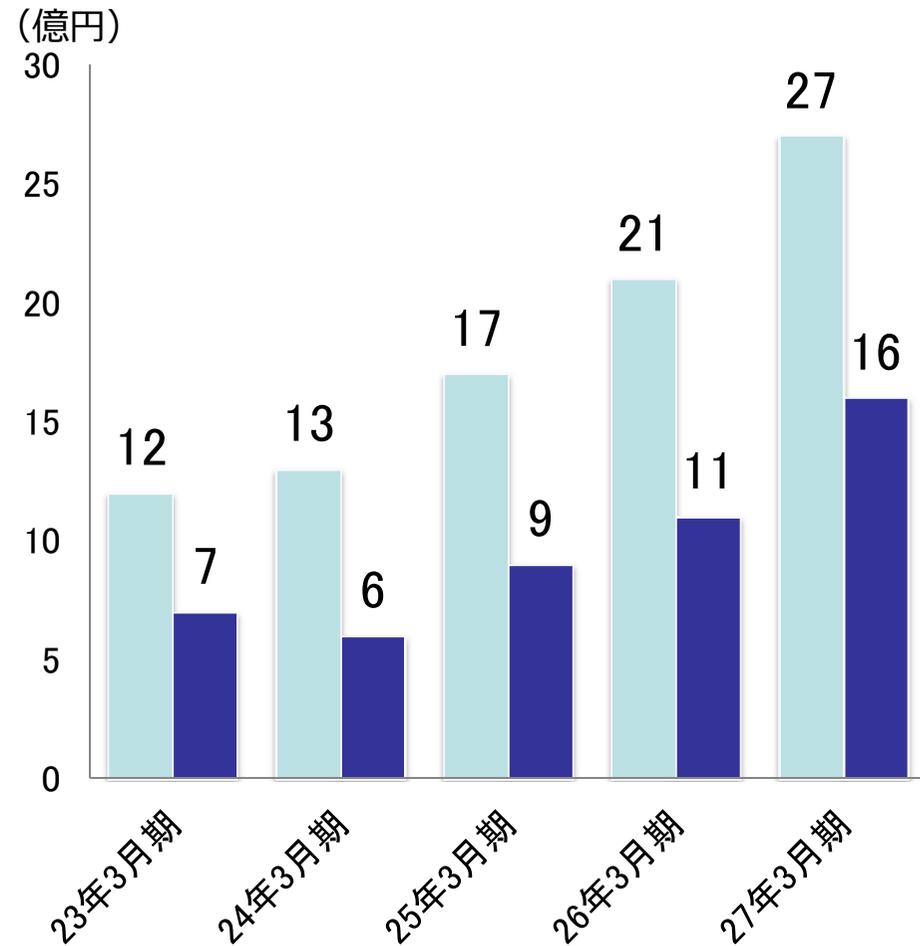
IV トマト銀行の概況

2年連続の増収、6年連続の増益(単体)

経常収益の推移



経常利益・当期純利益の推移



決算概要

- 資金利益、役員取引等利益増え、2年連続の増収・6年連続の増益
- 当期純利益、前期比38.3%増、過去最高益更新

損益状況

【単体】

(単位：百万円)

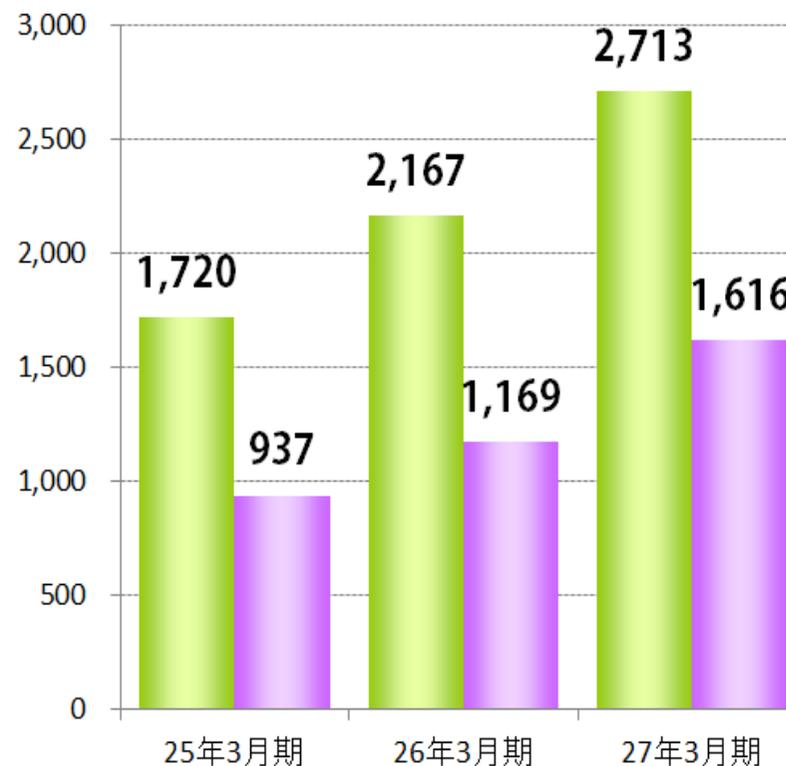
	26年3月期	27年3月期	前期比
業務粗利益	14,711	15,259	548
うち資金利益	13,676	14,143	466
うち役員取引等利益	761	972	211
経費	11,287	11,608	321
コア業務純益	3,191	3,754	563
一般貸倒引当金繰入額①	△ 267	1,492	1,759
業務純益	3,691	2,159	△ 1,532
臨時損益	△ 1,524	554	2,078
うち不良債権処理額②	1,389	△ 331	△ 1,721
うち株式等関係損益	△ 8	△ 12	△ 3
経常利益	2,167	2,713	545
当期純利益	1,169	1,616	447
与信関連費用(①+②)	1,122	1,160	37

経常利益・当期純利益

【単体】

(単位：百万円)

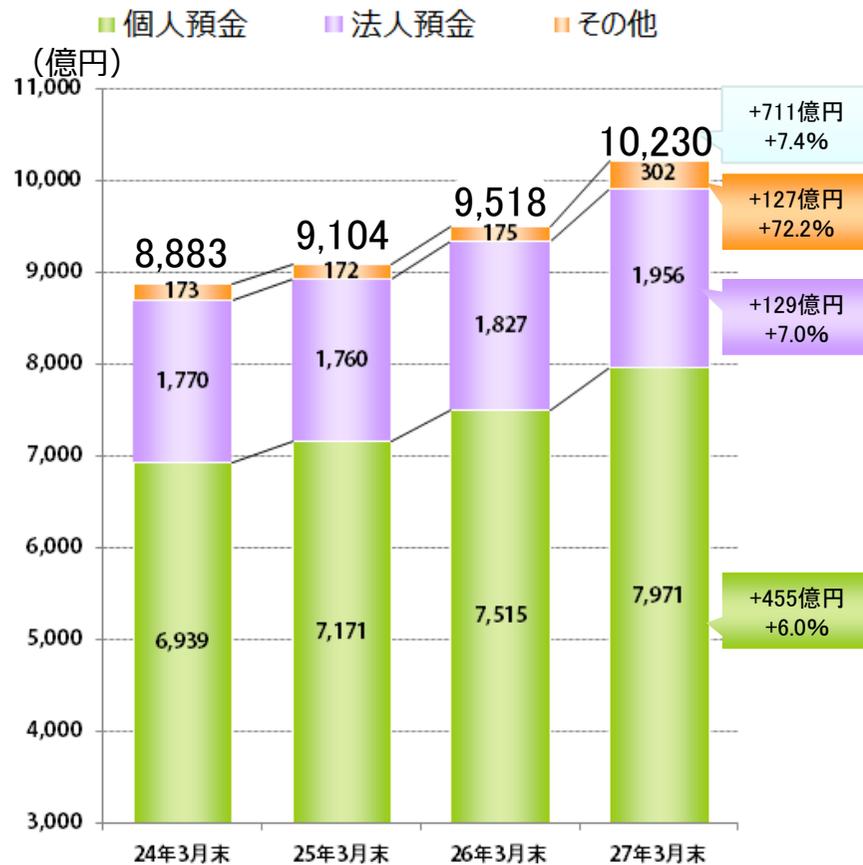
■ 経常利益 ■ 当期純利益



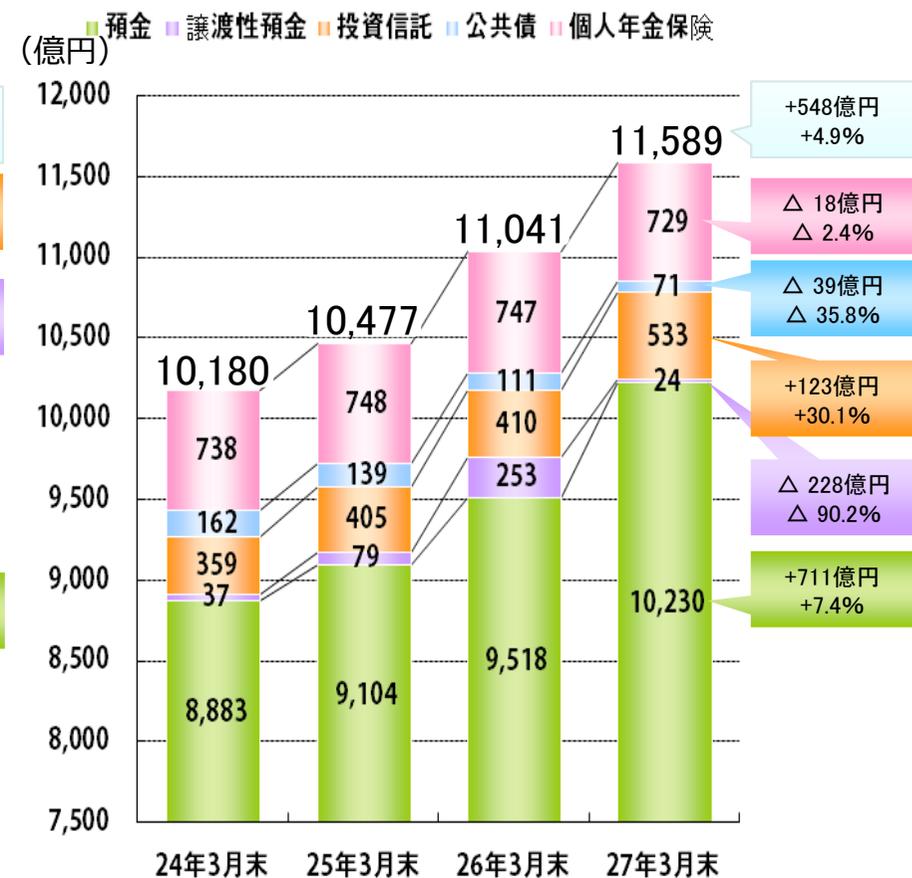
預金・預り資産

- 預金は順調に増加し、26年3月末比 711億円増 (+7.4%)
- 預り資産残高（預金含む）は、26年3月末比 548億円 (+4.9%) 増加し、1兆1,589億円に

預金残高推移



預り資産残高推移

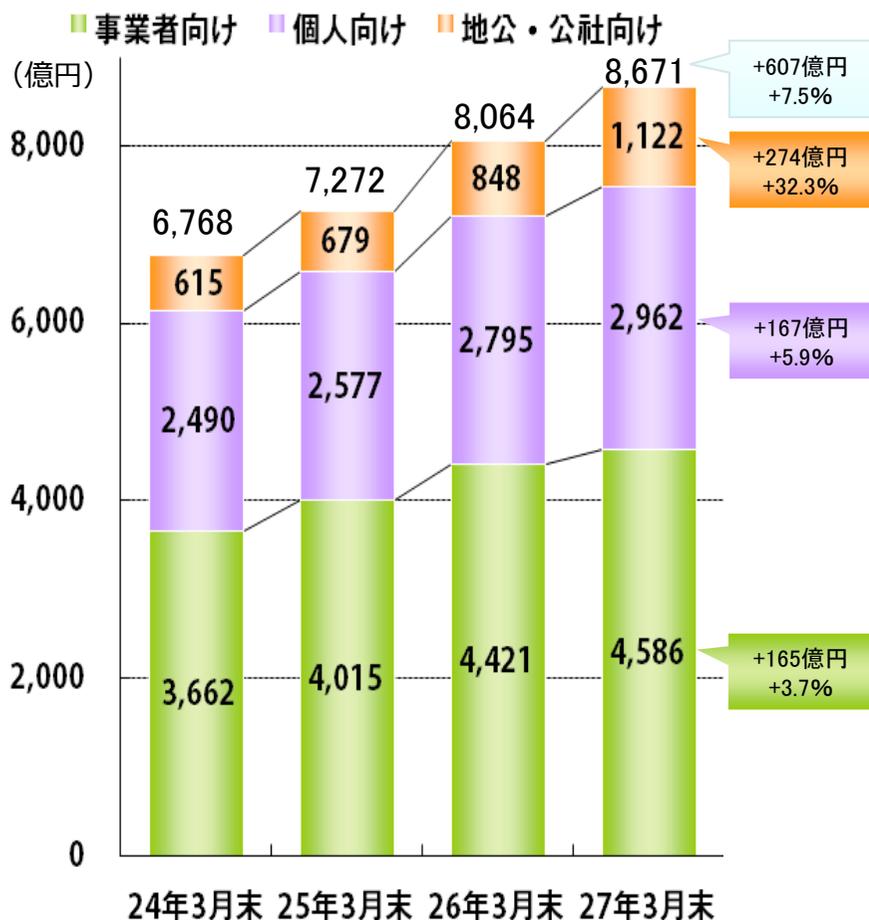


※ 預り資産とは、預金、譲渡性預金、投資信託、公共債、個人年金保険をいいます。

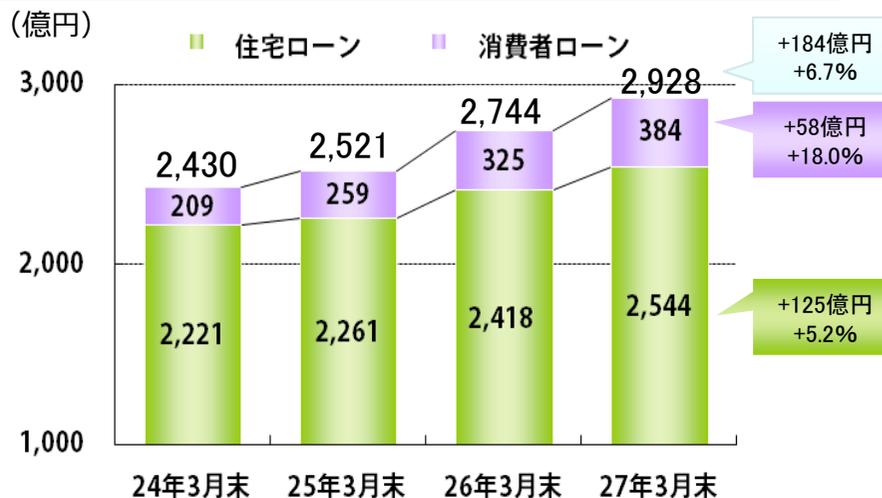
貸出金

- 貸出金残高は、26年3月末比 607億円 (+7.5%) 増加
- 個人ローン残高は、26年3月末比 184億円 (+6.7%) 増加

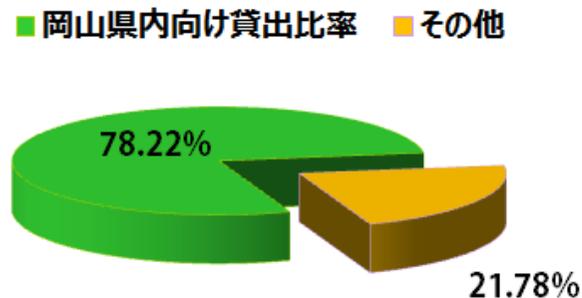
貸出金残高推移



個人ローン残高推移



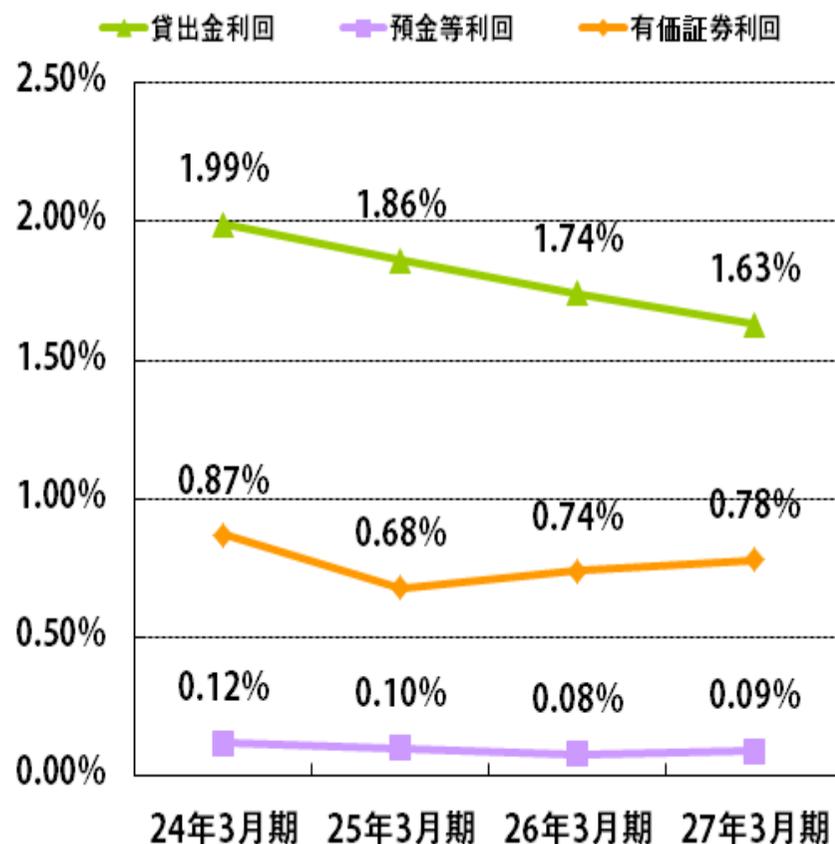
岡山県内向け貸出比率



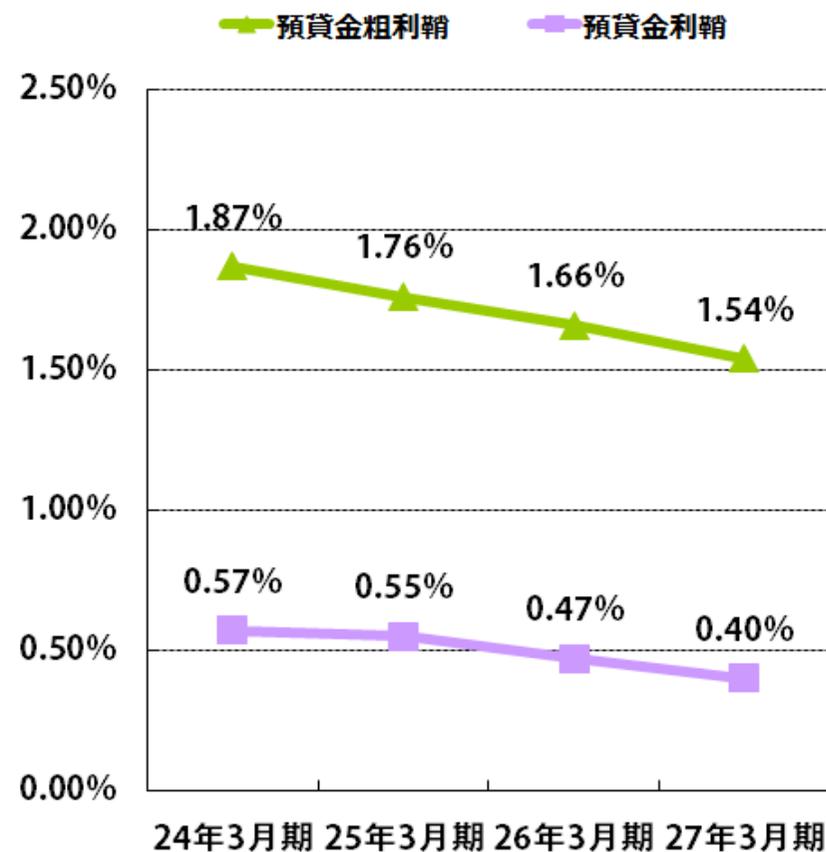
預貸金利回り・利鞘

- 貸出金利回りがさらに低下し、利鞘縮小

各種利回り等の推移(国内業務部門)



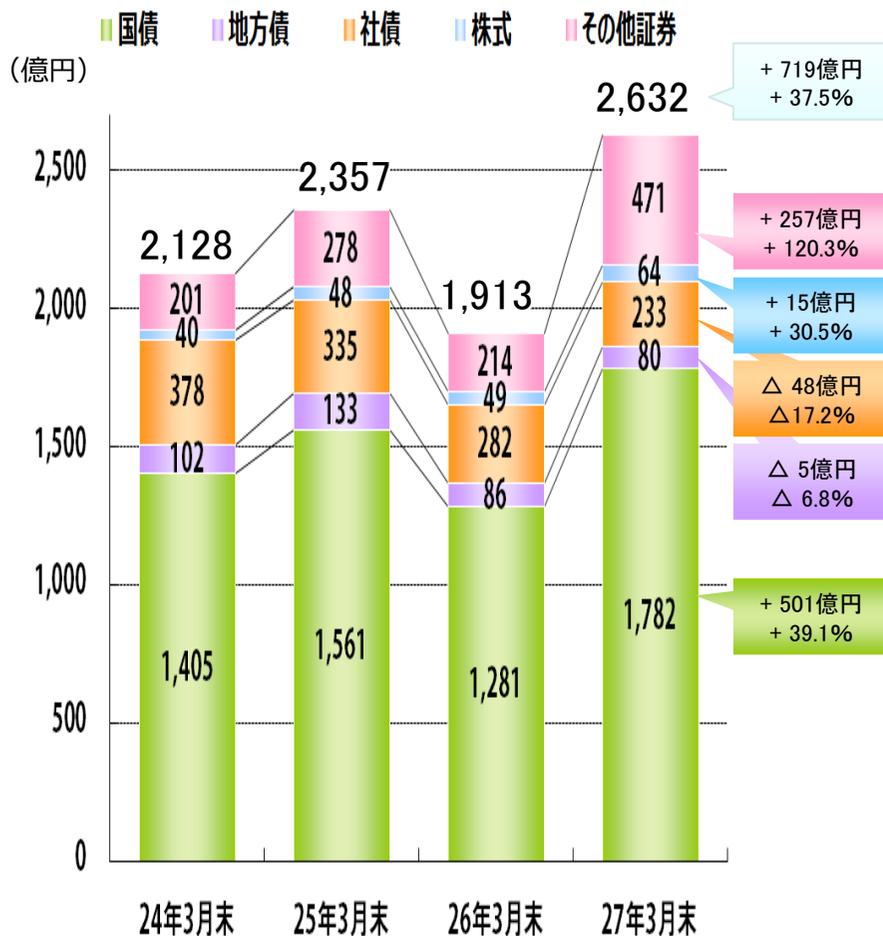
各種利鞘等の推移(国内業務部門)



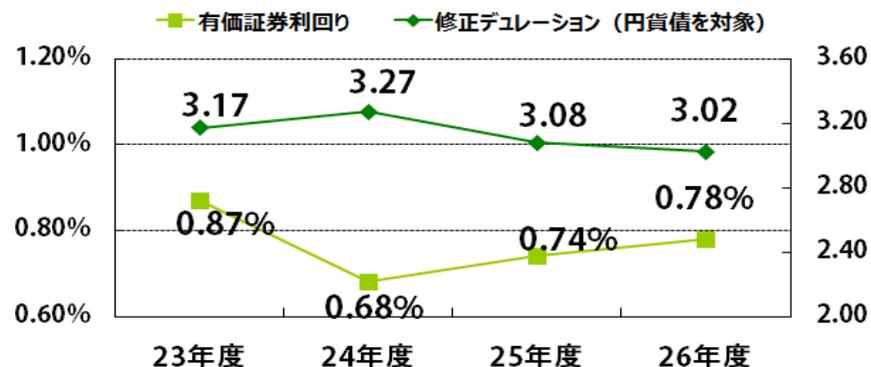
有価証券

- 有価証券残高は、26年3月末比 719億円 (+37.5%) 増

有価証券残高推移



利回り・修正デュレーションの推移



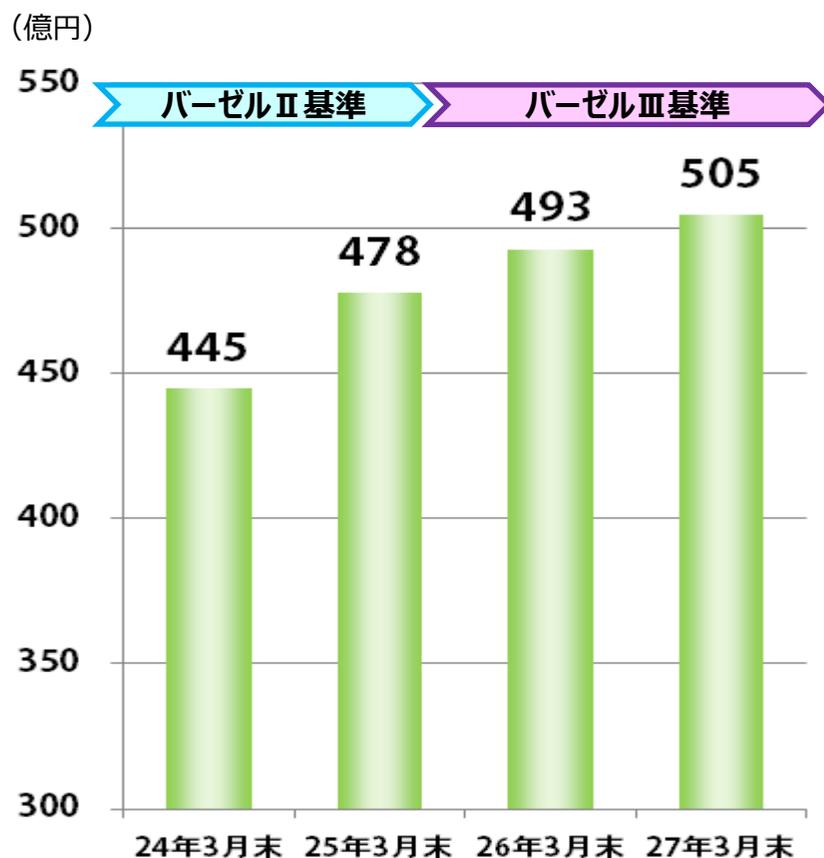
有価証券評価損益の状況

	27年3月末 評価損益		26年3月末 評価損益
	26年3月末比		
満期保有目的	1,604	174	1,429
子会社・関連会社株式	—	—	—
その他の有価証券	5,080	1,458	3,622
株式	3,093	1,414	1,678
債券	1,599	△108	1,707
その他	387	151	236
合計	6,685	1,632	5,052

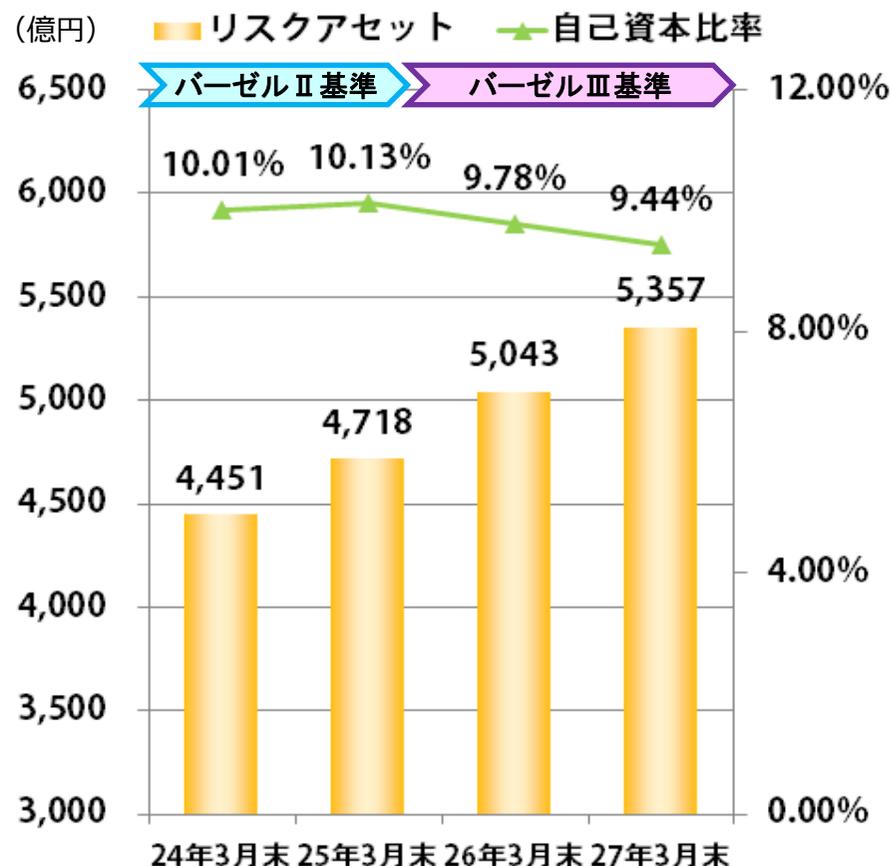
自己資本比率

- 自己資本比率は9.44%に（26年3月末からバーゼルⅢ〈国内基準〉適用）
- 国内基準（4%以上）を大きく上回っており、健全性確保

自己資本の推移【単体】



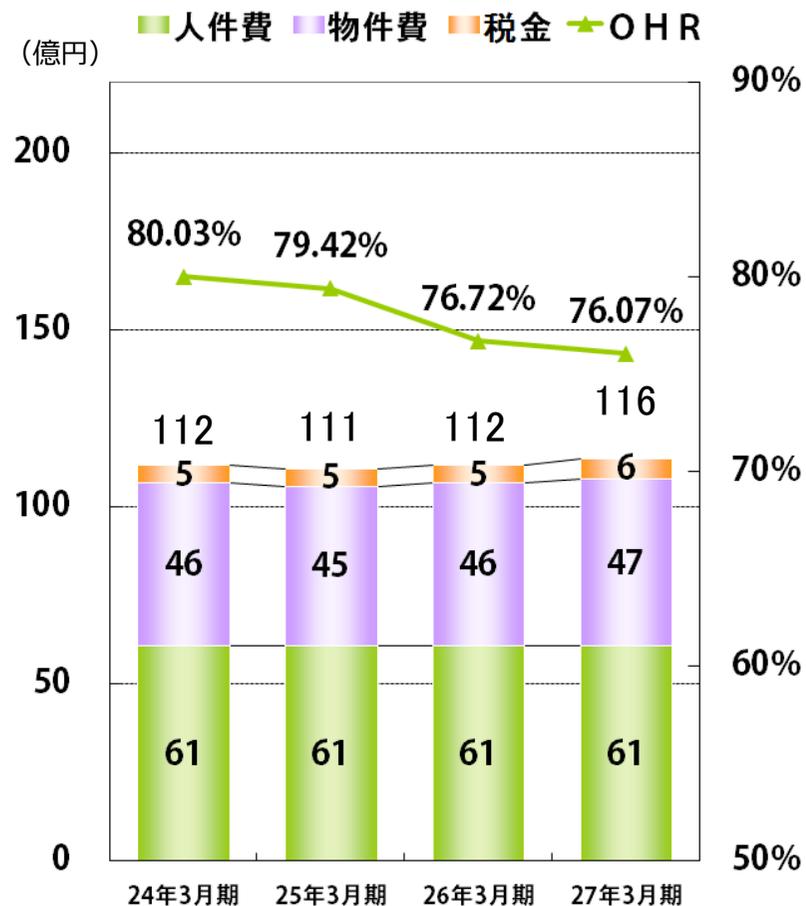
自己資本比率・リスクアセットの推移【単体】



経費・OHR

- 経費は、倉敷営業部（倉敷本社）新設などにより物件費が増えたことなどから増加

経費・OHRの推移

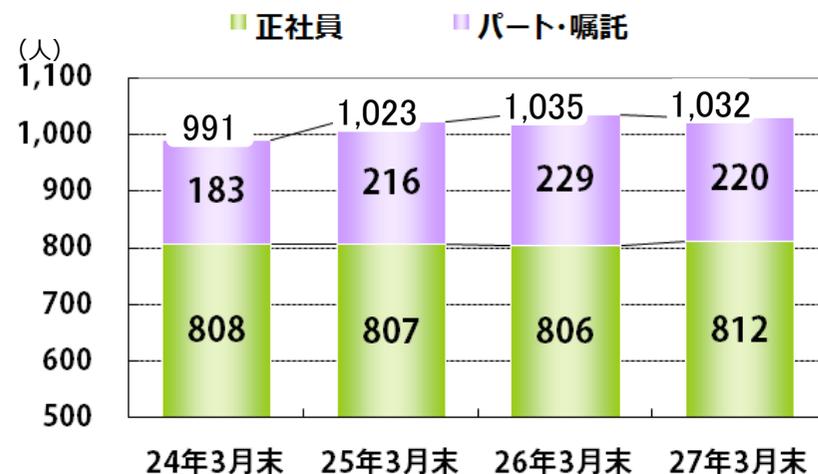


※ OHR = 営業経費 / 業務粗利益

経費の推移

(単位：百万円)		27年 3月期	前年同期比	26年 3月期
合計		11,608	321	11,287
人件費		6,125	△ 23	6,149
物件費		4,783	180	4,603
税金		699	164	534

人員推移

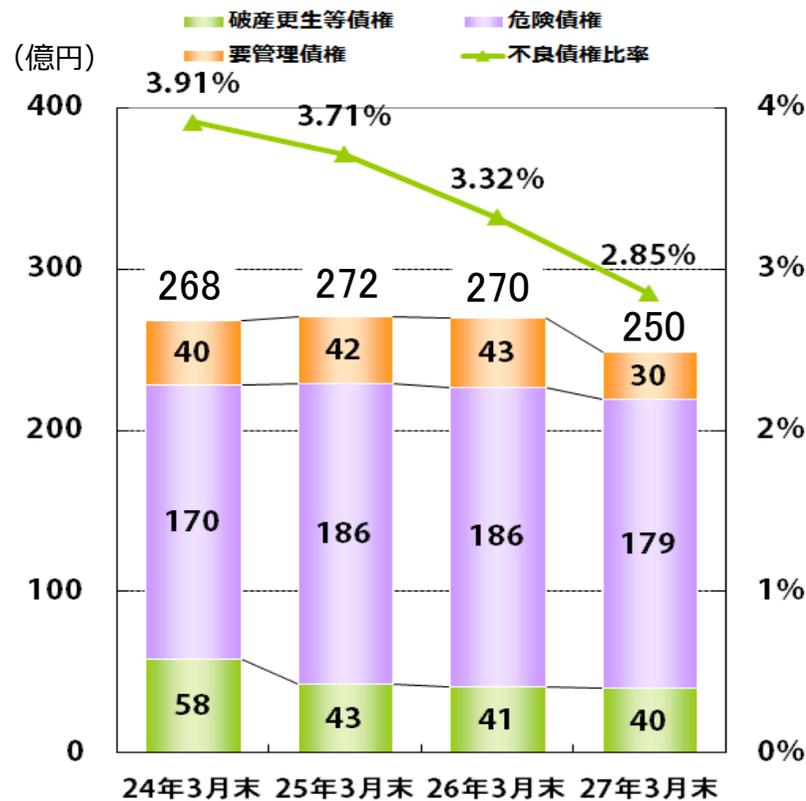


※ 出向者を除く

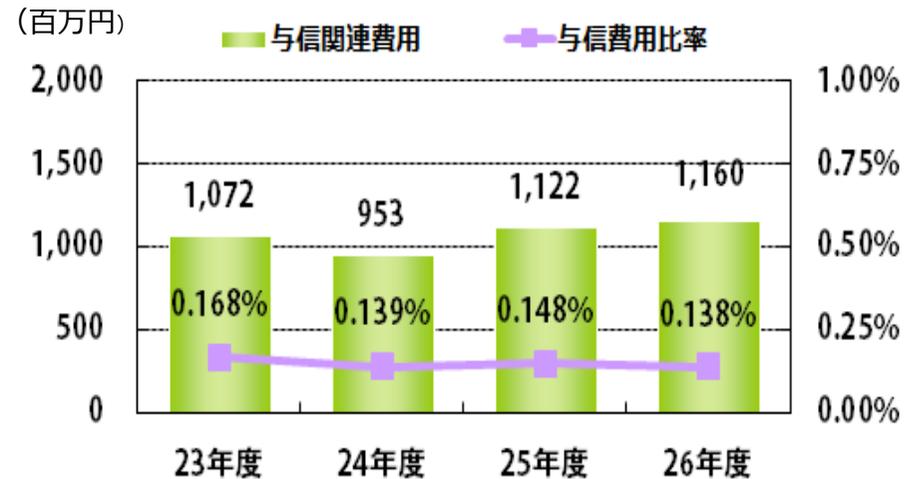
不良債権比率、保全・引当状況

- 不良債権比率は、26年3月末比 0.47ポイント低下し2.85%
- 保全率（担保・保証等、引当金）は、87.88%とさらに上昇

不良債権比率の推移



与信関連費用・与信費用比率推移



※ 与信費用比率 = (一般貸倒引当金繰入額 + 不良債権処理額) ÷ 期中貸出金平均残高
 ※ 全期間において「償却債権取立益」を与信関連費用に含めて計上しております。

保全・引当状況

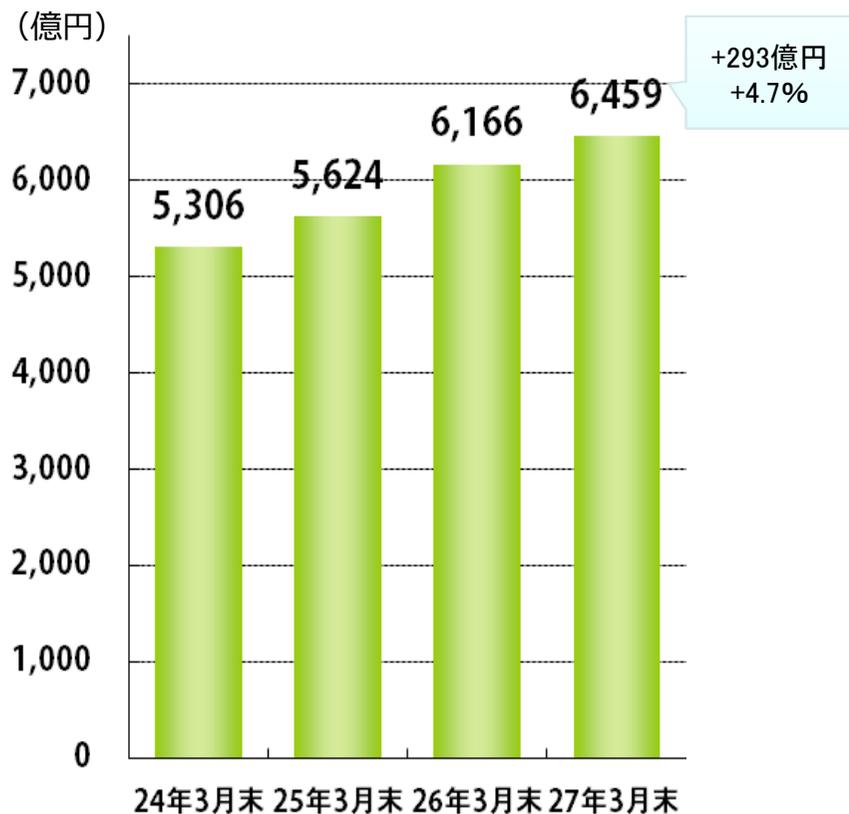
(単位：%)

	27年3月末		26年3月末
		26年3月末比	
保全率	87.88	4.22	83.66
引当率	60.87	12.21	48.66

中小企業向け・岡山県内向け貸出の推移

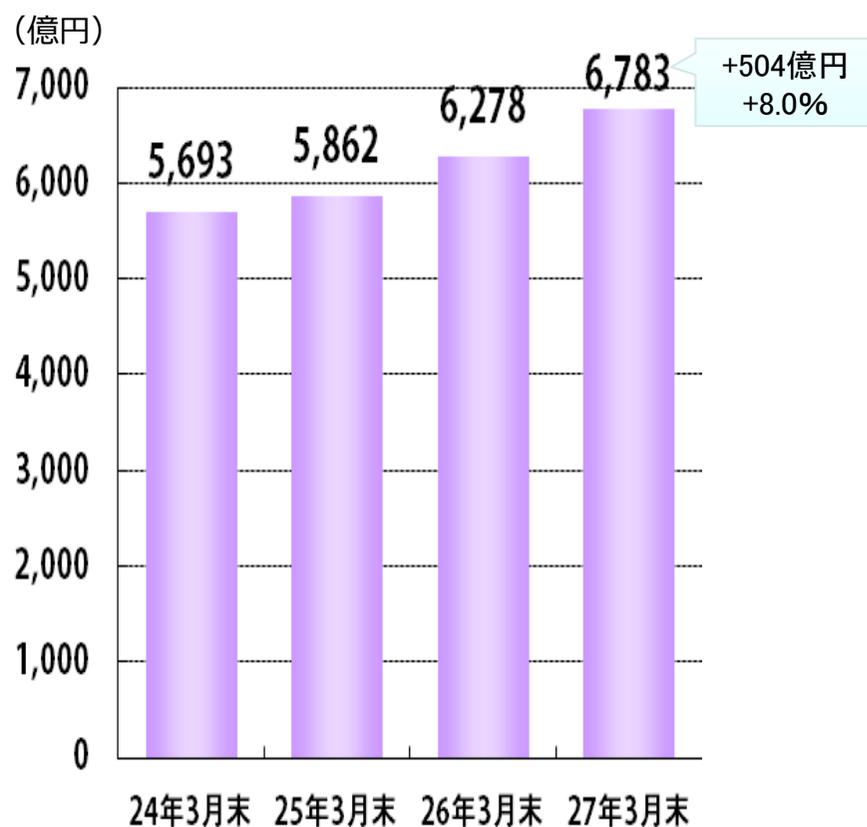
- 営業力パワーアップの成果などで、地元の中小企業や個人、県内向け貸出が増加中

中小企業等向け(※)貸出残高



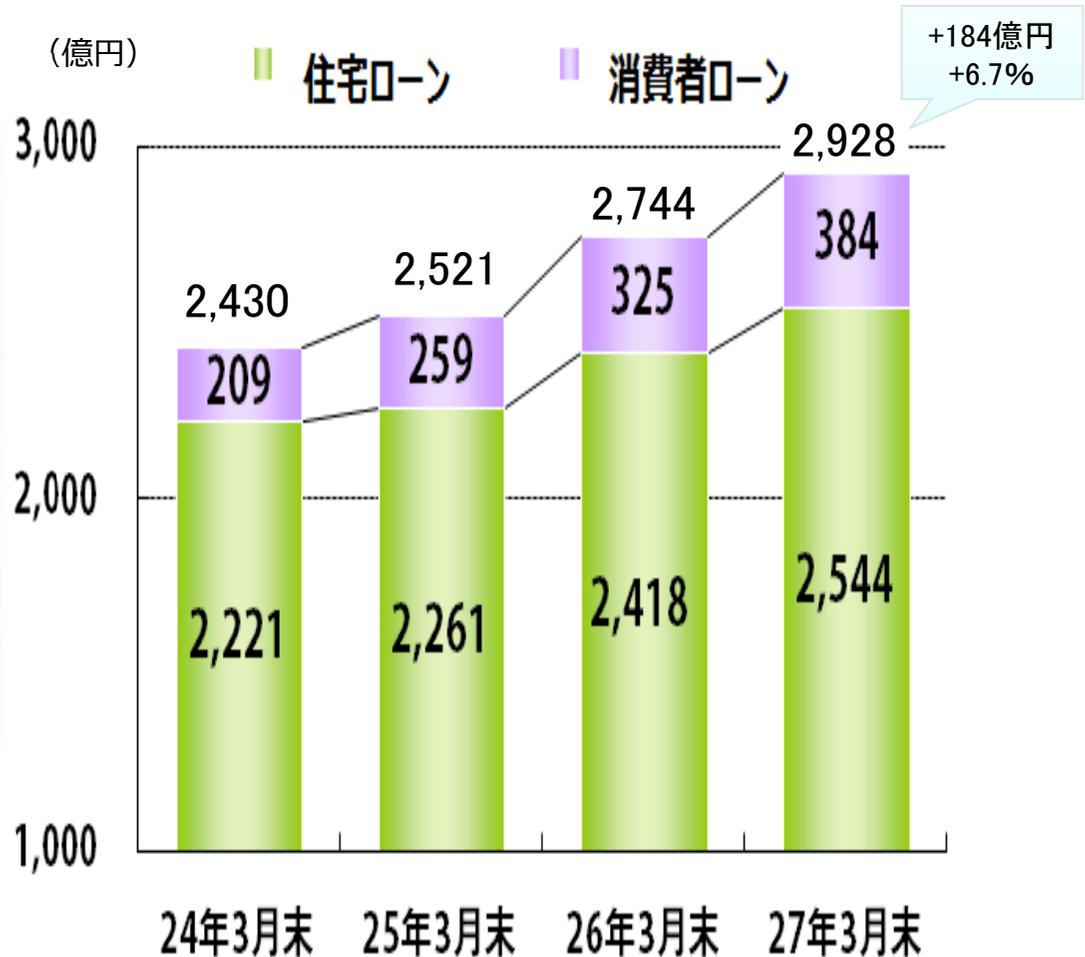
※ 資本金3億円（ただし、卸売業は1億円、小売業、飲食業、物品賃貸業等は5千万円）以下の会社又は常用する従業員が300人（ただし卸売業、物品賃貸業等は100人、小売業、飲食業は50人）以下の企業および個人など

岡山県内向け貸出残高



個人ローンの推移

- 個人ローン、26年3月末比 184億円 (+6.7%) 増加



平成28年3月期 業績予想

【単体】

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		一株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
28年3月期 (予想)	20,300	0.6	2,800	3.1	1,700	5.1	14	78

【連結】

	連結経常収益		連結経常利益		連結当期純利益		一株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
28年3月期 (予想)	20,600	0.4	2,800	0.3	1,700	2.2	14	82

I 平成27年3月期 決算概要

II 新中期経営計画について

III 地域経済・社会への貢献

IV トマト銀行の概況

トマト銀行の経営ビジョン(10年後の姿)

夢をかなえ、地域の未来を創造する銀行



(単体)	2015年3月期 (実績)	10年後 : 2025年3月期 (目標)
総預金残高	1兆255億円	1兆4千億円
貸出金残高	8,671億円	1兆1千億円
当期純利益	16億円	40億円
自己資本比率	9.4%	10%以上

新中期経営計画（平成27年度～29年度）の概要

トマトみらい創生プラン ～進化への挑戦～ 2018

- ◆ お客さまの頼れるパートナーとして、幸福・成長・発展を多面的に支援し、地域の活性化に貢献します。
- ◆ お客さまを深く理解し徹底的に寄り添うことで永続する信頼関係を確立します。
- ◆ 収益源の多様化を図り、成長力のあるビジネスモデルを構築します。
- ◆ 独自性発揮への限りない挑戦により、社員主役の個性あふれる銀行への転換を図ります。

重点目標

地方創生・
活性化への貢献

収益力(営業力・運用力)
の進化と収益源の多様化

強固な経営管理態勢
の確立

組織力・
人材力の強化

	(単体)	平成26年度 (実績)	平成29年度 (目標)
経営目標	コア業務純益	37億円	43億円
	当期純利益	16億円	20億円
	預金残高	1兆230億円	1兆1,300億円
	貸出金残高	8,671億円	1兆円
	事業者貸出先数	8,407先	9,500先
	自己資本比率	9.44%	8%以上
	ROE (当期純利益÷純資産)	4.1%	5%程度
	金融再生法開示債権比率	2.85%	2%台

営業戦略～変革から進化へ～

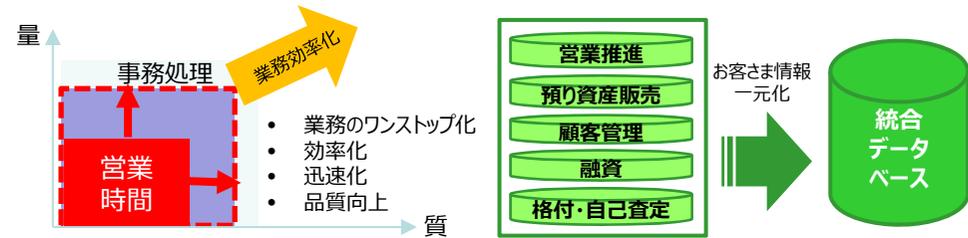
トマトMOTTO³プラン

重点目標：二大変革「営業カパワーアップ」



「SKY BANK※」を活用して営業活動を変革！

※渉外・融資支援システム
平成25年3月稼働開始



営業時間・訪問件数を拡大
お取引先との信頼関係をさらに強化

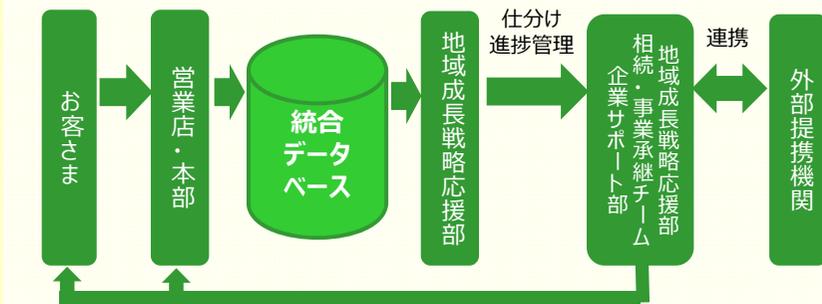
お取引先の経営課題、ニーズを
収集・把握し、社内で共有化

トマトみらい創生プラン

お客さまに徹底的に寄り添い、**本業支援、最適提案**を実践
～夢をかなえ、地域の未来を創造する銀行へ～

確固たるメイン取引先の増加と地域シェアおよびプレゼンス（存在価値）の向上

課題・ニーズに応じた本業支援・最適提案を検討・実施



法人戦略

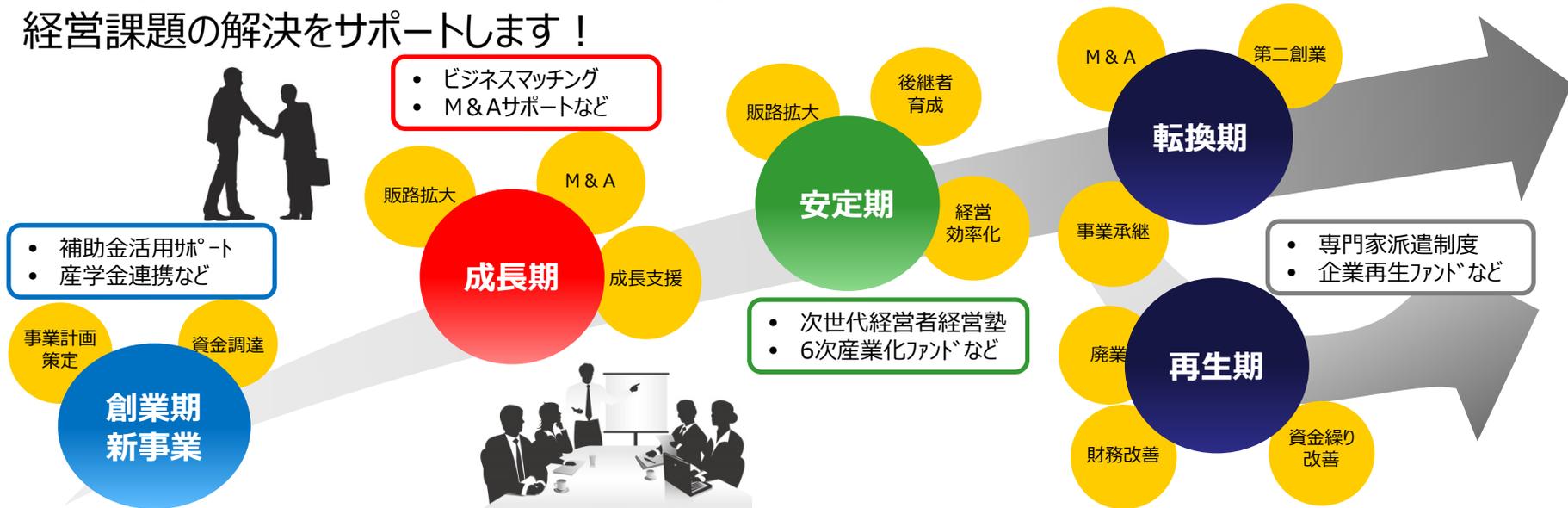
- 中小企業向け貸出の増強
- 全事業性貸出先の徹底管理と総合取引の推進（採算向上）
- 成長分野や地方創生への取り組み強化 等

個人戦略

- 個人ローン推進強化
- 相続コンサルティング力の強化（No.1分野の確立）
- 給振・年金先数の増強
- 若年層取引の強化による生涯取引基盤の拡充 等

企業のライフステージをトータルサポート

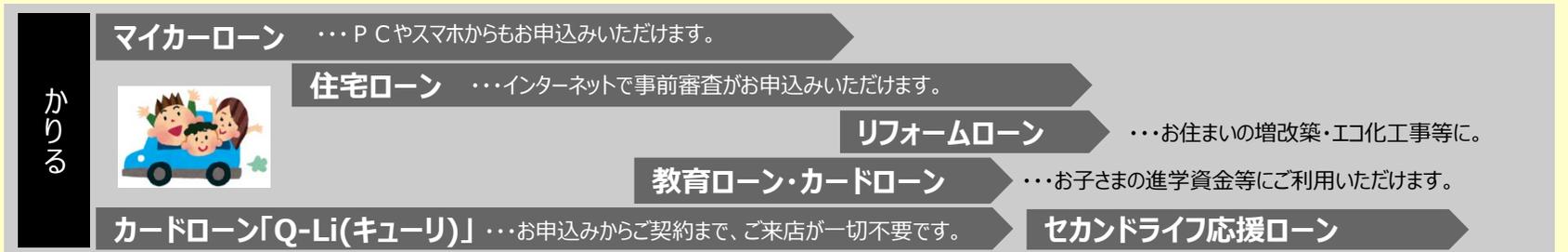
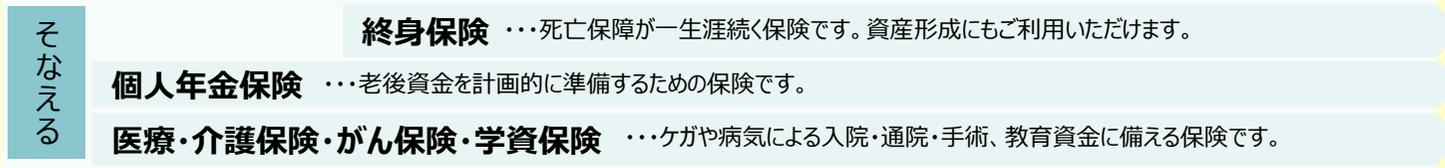
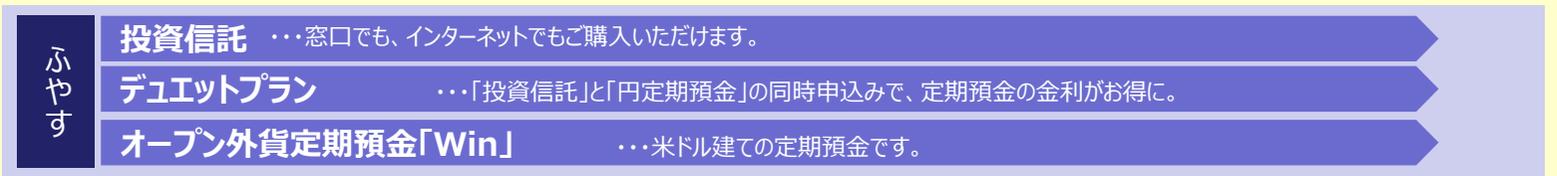
真にお役にたてるライフパートナーとして、お取引先のライフステージに**徹底的に寄り添い**、経営課題の解決をサポートします！



創業期	成長期	安定期	転換・再生期
<p>安心の創業サポート体制</p> <p>ベンチャー支援デスク 創業・新事業の展開などに関するご相談に専門家が対応します。</p> <p>専用融資商品</p> <ul style="list-style-type: none"> トマト創業応援ローン トマト・ベンチャーローン (フォローウィンド) トマト知的資産経営支援ローン (価値のきずき) 	<p>成長分野を強力にサポート！</p> <p>成長分野で事業に取り組むお客さま向けの融資商品や各分野に精通した専門担当者によるきめ細かいサポートを実施</p> <p>医療介護 専門資格※を有する経験豊富な担当者が経営課題解決をサポート ※医療経営士・介護福祉経営士等</p> <p>海外進出 海外業務に精通した担当者と提携機関等が連携し、海外進出をサポート</p>	<p>多様なニーズに専門家集団が対応します！</p> <p>高度・多様な経営課題に、最適なソリューションを提供！</p> <p>お取引先 ← 実行提案 / ご相談 →</p> <p>営業店 地域成長戦略応援部 相続・事業承継チーム 企業サポート部</p> <p>連携</p> <p>外部専門家 外部機関等</p> <ul style="list-style-type: none"> 弁理士・弁護士等 地方公共団体 JETRO (日本貿易振興機構) 行政書士会 企業再生ファンド 地域活性化支援機構 など 	

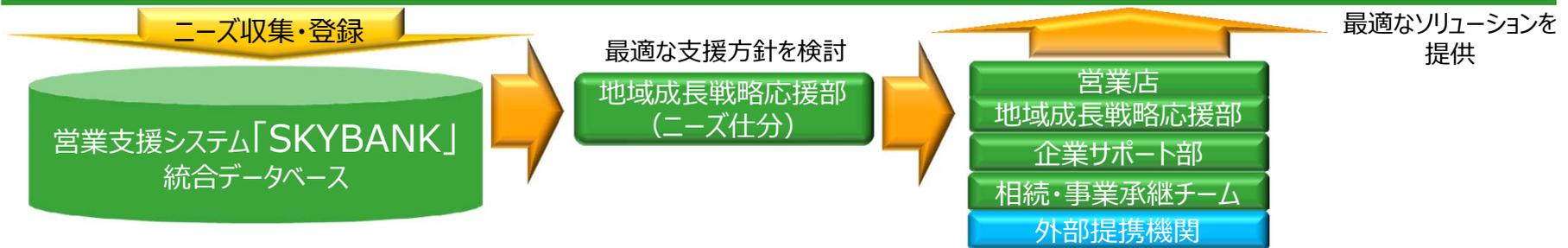
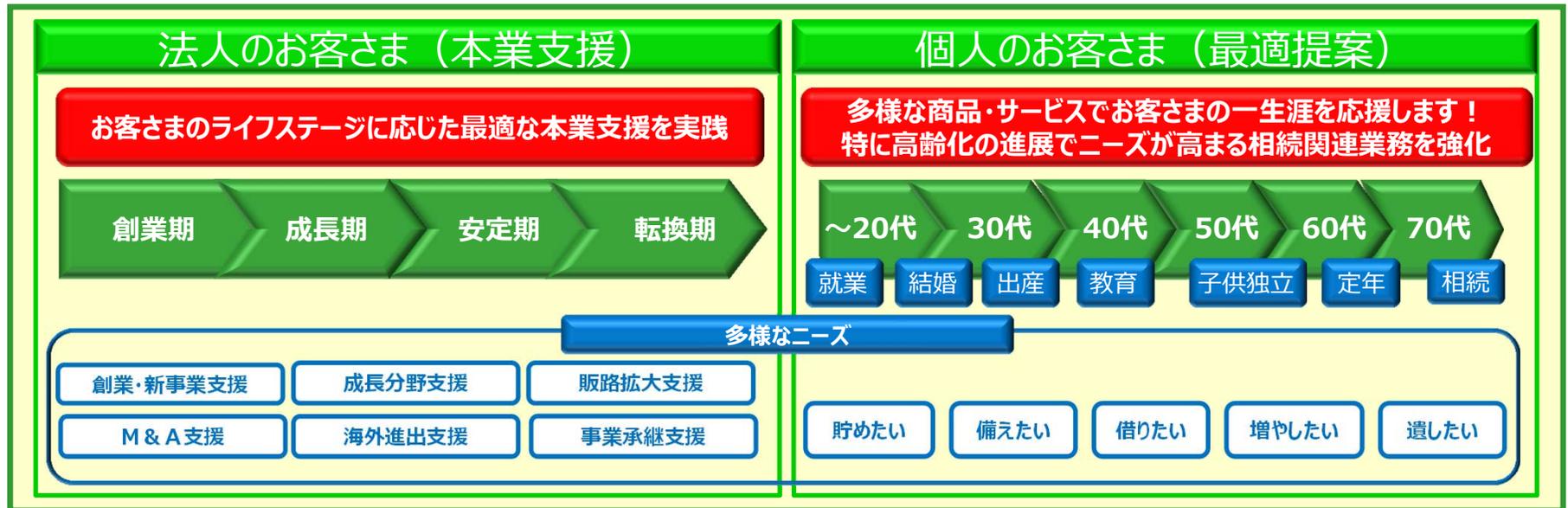
個人のライフイベントをトータルサポート

トマト銀行は、お客さまの一生をトータルにサポートするライフパートナーになります。



ビジネスモデル(本業支援・最適提案)の確立

トマト銀行は、個人のお客さまにはその一生を、企業のお客さまには、創業から発展・承継まで、トータルにサポートする**ライフパートナー**になります。



確固たるメイン取引先の増加と地域シェアおよびプレゼンス（存在価値）の向上！

徹底した総合取引の推進により、収益の極大化を図る！

トマト銀行の行動指針



地域の未来を創造する。

地域活性化のコーディネーター。

誰よりも地域を愛し、広く地域と産業を繋ぐ役割＝地域活性化のコーディネーターになります。

新たな豊かさを追求しようとしている企業や団体をさまざまな角度から支援し、その発展に貢献します。



地域活性化のコーディネーター



お客様の夢をかなえる。

お客様の真にお役に立てるライフパートナー。

個人のお客様にはその一生を、企業のお客様には、創業から発展・承継までトータルにサポートするライフパートナーになります。

お客様が困った時こそしっかり応援させていただき、困難のよい銀行を目指します。



お客様が困った時応援する面倒見のよい銀行



夢をかなえる個性派集団。

一人ひとりの人間力、全員精鋭主義。

トマト銀行の人づくりは、少数精鋭主義ではなく、社員一人ひとりが力を発揮する「全員精鋭主義」。

人間性、個性を磨き、誠実な行動と全員精鋭でお客様の期待に応えます。



全員精鋭主義

I 平成27年3月期 決算概要

II 新中期経営計画について

III 地域経済・社会への貢献

IV トマト銀行の概況

岡山県との包括提携

平成26年8月 地域の発展を目的に岡山県と提携



平成26年8月 企業立地特別融資制度（総枠200億円）新設

平成26年10月 災害時協力協定締結

平成26年12月 もんげー岡山！定期預金の取り扱い

もんげー岡山！定期預金の取り扱い

もんげー岡山！ 岡山の「認知度」・「愛着度」^{※1}を向上させよう！
 岡山の「認知度」・「愛着度」が下記の目標順位を達成するとさらに金利が上乗せに！

	Step 1	Step 2
認知度向上コース	もれなく 預入時の店頭表示金利に 上乗せ利率 10年 0.25% (税引後:年0.1992%)	さらに 「全国における岡山県の認知度」が 全国 15位以内 なら！ (現在 27位 ^{※2}) 上乗せ利率 10年 0.10% (税引後:年0.0796%)
愛着度向上コース	もれなく 預入時の店頭表示金利に 上乗せ利率 10年 0.25% (税引後:年0.1992%)	さらに 「県民等の岡山県への愛着度」が 全国 20位以内 なら！ (現在 32位 ^{※3}) 上乗せ利率 10年 0.10% (税引後:年0.0796%)
金利決定時期 ^{※2}	預入時	平成27年10月 / 平成28年10月 / 平成29年10月

※1 岡山県の「認知度」および「愛着度」が目標順位を達成すれば、毎年行っている「地域ブランド賞」に基づき、毎年10月頃、当該目標達成に公表します。
 ※2 1年もの場合は、平成27年10月のみ、3年もしくは5年もの場合は、平成27年10月、平成28年10月、平成29年10月の3回のうち一度でも達成すれば上乗せを行います。
 ※3 平成26年10月発表分

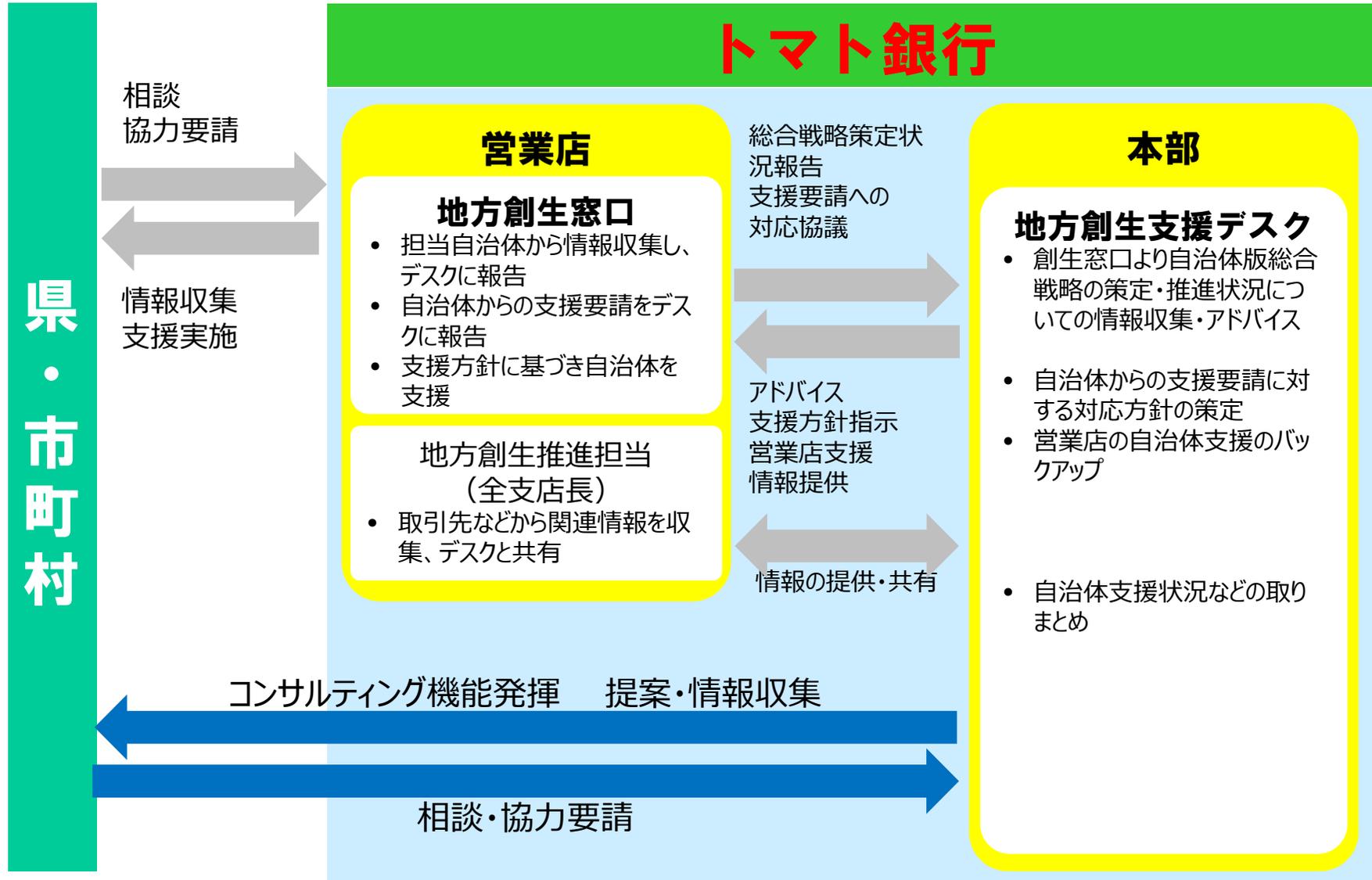
1年・3年・5年もの定期預金
 店頭表示金利に **最大** **10年 0.35%**
 (税引後:年0.2788%)
※金利が上乗せされるのは初回の預入満期のみであり、その後は満期日当日の店頭表示金利となります。

もんげー岡山！ さらに、お客さまの **もんげー“岡山愛”** をカタチにします。
 日本一の図書館^{※4}「岡山県立図書館」へ **最大30万円分**^{※5}の図書^{※5}を寄贈！

※4 2013年度の来場者数・個人貸出数が全国の都道府県立図書館で1位
 ※5 新規預入総額の0.05%相当額(上限30万円)分の図書を(岡山県立図書館)へ寄贈します。(お客さまのご負担はございません)

お預入総額が512億円となり、30万円（お預入総額の0.05%、上限30万円）を5月27日 図書購入費として岡山県立図書館に贈呈させていただきました。

地方創生支援の取り組み



創業・知的資産経営支援の取り組み

「トマト創業応援ローン」の取り扱い（平成27年3月）

創業資金の積極的取り組みを行うと同時に、創業時におけるお客さまへの助言や事業計画に関する目利き能力のレベルアップを図るため、日本政策金融公庫との協調融資制度「トマト創業応援ローン」の取り扱いを開始しました。



岡山県行政書士会と中小企業者支援で連携（平成27年3月）

岡山県行政書士会と連携し、地域の中小企業者を支援するため、人材や技術など財務諸表に表れない強みを活かす「知的資産経営」に取り組む中小事業者向けの新融資制度「トマト知的資産経営支援ローン（愛称「価値のきずき」）」の取り扱いを開始しました。



I 平成27年3月期 決算概要

II 新中期経営計画について

III 地域経済・社会への貢献

IV トマト銀行の概況

トマト銀行のプロフィール

本社所在地	岡山県岡山市北区番町2丁目3番4号
設立年月日	昭和6年11月9日
資本金	143億1千万円
総資産	1兆1,926億円
預り資産残高	1兆1,589億円（うち預金残高 1兆230億円）
貸出金残高	8,671億円
従業員数	1,076名（嘱託・パート社員を含む）
店舗数	61カ店、住宅ローンセンター 2カ所、ビジネスサポートプラザ 1カ所
上場取引所	東証一部（証券コード 8542）

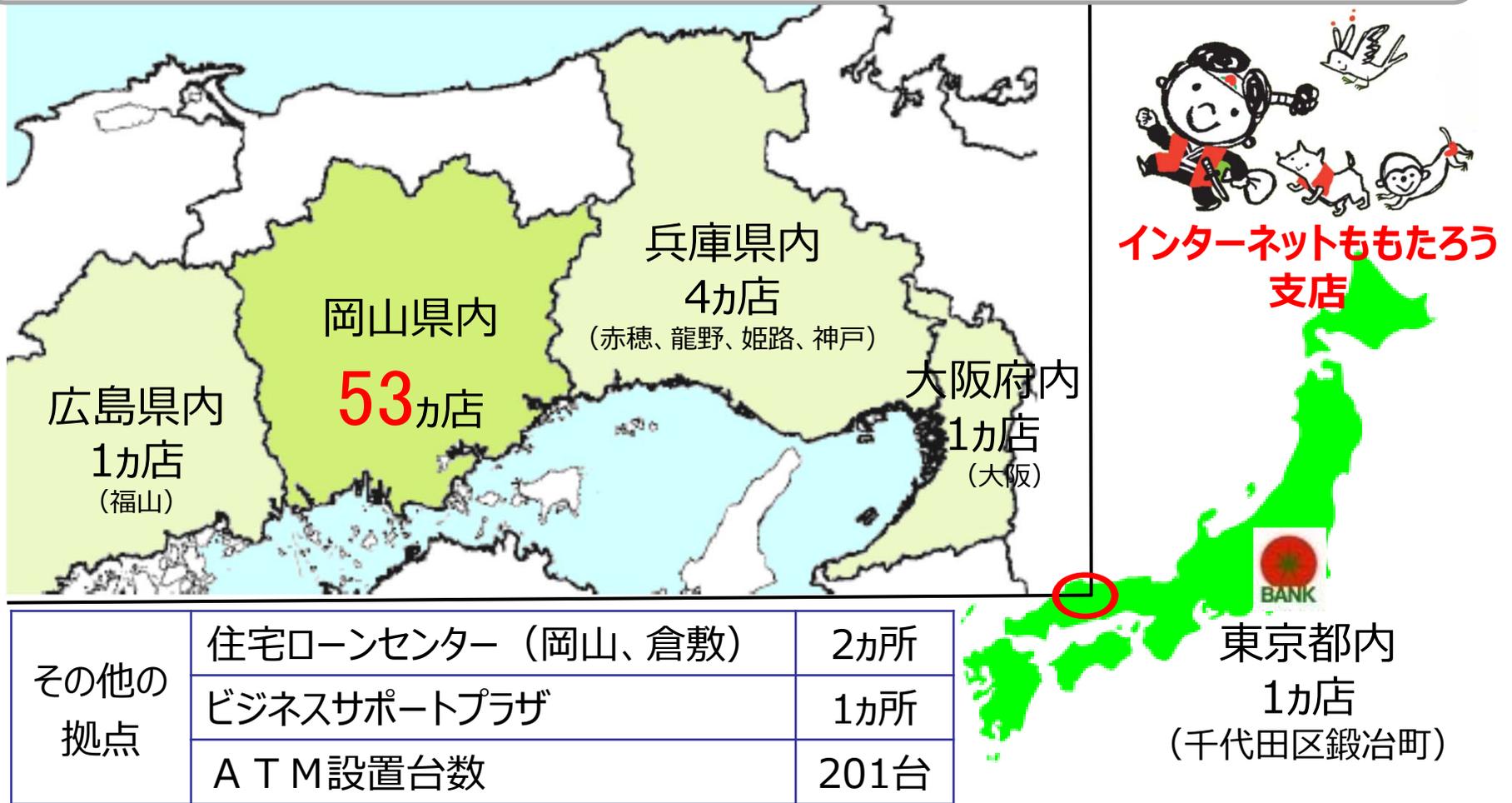
※ 計数は単体、平成27年3月末時点

トマト銀行のあゆみ

1931年	昭和 6年11月	岡山県倉敷市で創業
1951年	昭和26年10月	三和相互銀行に社名変更
1969年	昭和44年 4月	山陽相互銀行に社名変更
1987年	昭和62年10月	大阪証券取引所、広島証券取引所に上場
1989年	平成 元年 4月	トマト銀行に社名変更、普通銀行に転換
2000年	平成12年 3月	東京証券取引所第一部に上場
2011年	平成23年11月	創立80周年
2014年	平成26年7月	創業の地に倉敷営業部（倉敷本社）新設
2014年	平成26年 9月	預金残高 1兆円突破
2015年	平成27年 4月	新中期経営計画「トマトみらい創生プラン～進化への挑戦～2018」スタート

トマト銀行の店舗ネットワーク

5都府県に**61カ店**を展開、地元岡山県内に**53カ店**を集中配置
 平成22年3月、中国地方の地銀で**初**のインターネット**ももたろう支店**開設



※平成27年3月末時点

本資料に関する照会先



株式会社トマト銀行 経営企画部

Tel : 086-800-1830

Fax : 086-224-0207

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化等により、目標対比等異なる可能性があることにご注意ください。